日南市埋蔵文化財調査報告書　第23集

平成19年度

日南市内遺跡発掘調査概報

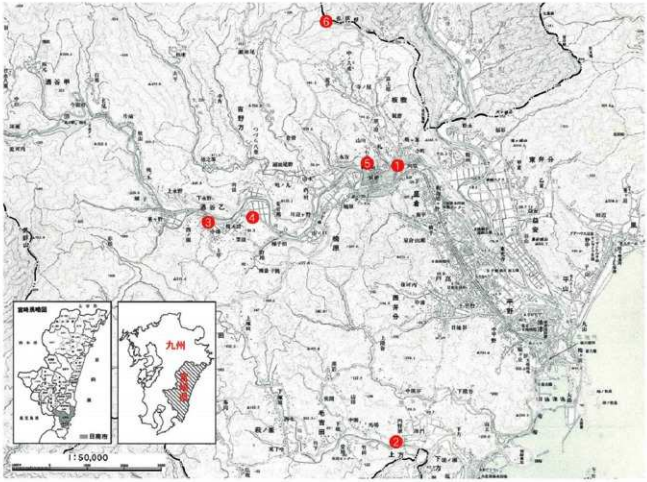
2008. 3
宮崎県日南市教育委員会

日南市埋蔵文化財調査報告書　第23集

平成19年度

日南市内遺跡発掘調査概報

1．今町地区個人住宅建設予定地（飫肥城下町遺跡）
2．株式会社ニチワ工場増設予定地（松ノ元遺跡）
3．中津留地区ほ場整備予定地
4．金丸養鶏場建設予定地（宮下遺跡）
5．飫肥城御倉石垣確認調査
6．板敷地区携帯電話用無線中継基地局建設予定地



2008.3

宮崎日南市教育委員会

序

この報告書は、日南市教育委員会において平成１９年度に実施した埋蔵文化財の有無を確認するための発掘調査の概要で、本市教育委員会では埋蔵文化財保護の立場から、各種開発行為に先立ち試掘調査を実施しております。今後市内で行われるであろう多くの各種開発行為に伴う未確認の埋蔵文化財についても、開発側等との充分な情報交換や協議などをすすめ、その保護に資するよう努力を重ねていきたいと思います。

最後になりましたが、調査を実施するにあたり、埋蔵文化財の保護に格別のご配慮とご理解を賜りました各開発関係者各位並びに地元の方々に厚くお礼を申し上げます。また、調査にあたりまして、ご指導・ご助言をくださいました宮崎県教育庁文化課や現地調査及び整理作業にご協力いただいた作業員の方々にも重ねてお礼を申し上げます。

平成２０年３月

日南市教育長　安　野　喜　宏

例　言

1．本書は、平成１９年度に日南市教育委員会が各種開発行為に先立ち埋蔵文化財の有無を確認するために実施した発掘調査の概要である。

2．掲載した調査地は、
1．今町地区個人住宅建設予定地（飫肥城下町遺跡）
2．株式会社ニチワ工場増設予定地（松ノ元遺跡）
3．中津留地区ほ場整備予定地
4．養鶏場建設予定地（宮下遺跡）
5．飫肥城石垣確認調査
6．携帯電話用無線中継基地局建設予定地

3．調査主体・・・日南市教育委員会

教　育　長　安野　喜宏
生涯学習課長　田村　利和
補佐兼文化係長　岡本　武憲
庶務担当・・・・・・主　事　坂元　光一
調査担当・・・・・・主　事　鬼束　紘樹
調査作業員・・・・・・・・・・・・・・・川瀬満政、川添強、垣崎正美、阿部正規、阿部正枝、湯浅巌、岩切佐記子、川瀬康弘、田中孝、久保畑ユキ子、沖山承子、河野恵美子

4．現地調査は、鬼束が行った。

5．実測及びトレースは、鬼束、岡本が行った。

6．本書の編集執筆は、鬼束が行った。

7．各トレンチについての方位は磁北、レベルは、海抜高にて示した。

本文目次

1．今町地区個人住宅建設予定地（飫肥城下町遺跡）
位置と環境・・1
調査の経緯・・1
調査の結果・・1
2．株式会社ニチワ工場増設予定地（松ノ元遺跡）
位置と環境・・5
調査の経緯・・5
調査の結果・・5
3．中津留地区ほ場整備予定地
位置と環境・・9
調査の経緯・・9
調査の結果・・9
4．金丸養鶏場建設予定地（宮下遺跡）
位置と環境・・・13
調査の経緯・・・13
調査の結果・・・13
5．飫肥城御倉石垣確認調査
位置と環境・・・19
調査の経緯・・・19
調査の結果・・・19
6．板敷地区携帯電話用無線中継基地局建設予定地
位置と環境・・・25
調査の経緯・・・25
調査の結果・・・25

挿図目次

第1図　今町地区個人住宅建設予定地　位置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
第2図　今町地区個人住宅建設予定地　トレンチ位置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
第3図　株式会社ニチワ工場増設予定地　位置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
第4図　株式会社ニチワ工場増設予定地　トレンチ位置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
第5図　中津留地区ほ場整備予定地　位置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
第6図　中津留地区ほ場整備予定地　トレンチ位置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
第7図　金丸養鶏場建設予定地　位置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
第8図　金丸養鶏場建設予定地　トレンチ位置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
第9図　金丸養鶏場建設予定地　土層断面図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
第10図　飫肥城御倉石垣　位置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
第11図　飫肥城御倉石垣　位置図（拡大）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
第12図　板敷地区携帯電話用無線中継基地局建設予定地　位置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
第13図　板敷地区携帯電話用無線中継基地局建設予定地　トレンチ位置図・・・・・・・・・・・・・・・26

図版目次

図版1　飫肥城下承応年間古絵図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
図版2　今町地区個人住宅建設予定地　トレンチ調査状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
図版3　株式会社ニチワ工場増設予定地　全景・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
図版4　株式会社ニチワ工場増設予定地　トレンチ調査状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

図版５　中津留地区ほ場整備予定地　トレンチ調査状況その１・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
図版６　中津留地区ほ場整備予定地　トレンチ調査状況その２・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
図版７　金丸養鶏場建設予定地　全景・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
図版８　金丸養鶏場建設予定地　トレンチ調査状況その１・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
図版９　金丸養鶏場建設予定地　トレンチ調査状況その２・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
図版10　飫肥城御倉石垣確認調査状況その１・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
図版11　飫肥城御倉石垣確認調査状況その２・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
図版12　飫肥城御倉石垣確認調査状況その３・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
図版13　飫肥城下古絵図その１・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
図版14　飫肥城下古絵図その２・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
図版15　板敷地区携帯電話用無線中継基地局建設予定地　トレンチ調査状況その１・・・・・・・・・・・・26
図版16　板敷地区携帯電話用無線中継基地局建設予定地　トレンチ調査状況その２・・・・・・・・・・・・27

〔日南市全景〕

今町地区個人住宅建設予定地（飫肥城下町遺跡）

〔位置と環境〕

今町地区個人住宅建設予定地は周知の埋蔵文化財包蔵地である飫肥城下町遺跡内に位置している。飫肥城の東のシラス台地の崖下にある。当該地は江戸時代から、商人町として栄えた今町地区に位置しており、当時談義所と呼ばれ、飫肥藩の三大寺の一つであった願成就寺の真下に位置する。承応年間（１６５２年～１６５４年）の城下図には、住宅と思われる区割りが描かれており、中近世以降の遺構が検出される可能性は高いと思われた。なお、現場は近年はコンクリート舗装の駐車場として使用されていた。

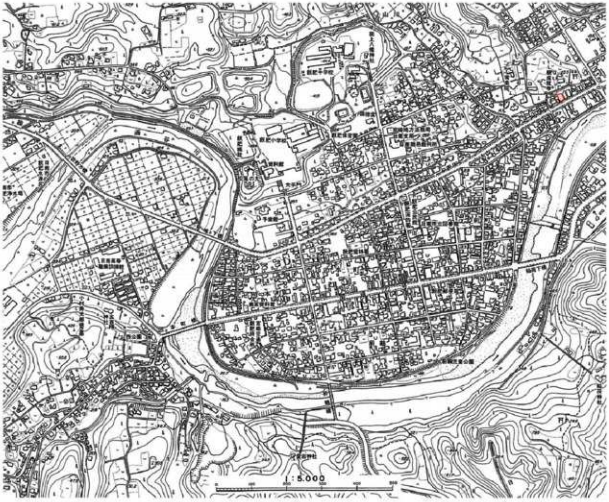
〔調査の経緯〕

吉原建設株式会社から個人住宅建設についての確認申請があったため、工事に先立ち試掘調査を実施することとなった。調査対象地は地表面のコンクリートがはぎとられた状態で、基礎部分を中心に、１．５ｍ×０．８ｍのトレンチを４箇所設定し、人力にて遺物の検出に努めた。工事による掘削範囲が３０㎝までであることを考慮して、人力で地表面より４０～５０㎝の掘削を行った。

〔調査の結果〕

調査の結果、現地は地表面から４０㎝以上の撹乱層となっており、遺構、遺物ともに確認できなかった。

今町地区個人住宅建設予定地　位置図



第１図

今町地区個人住宅建設予定地　トレンチ位置図

第２図

飫肥城下承応年間古絵図

図版　1

今町地区個人住宅建設予定地　トレンチ調査状況

トレンチ1

トレンチ3

トレンチ2

トレンチ4

図版　2

株式会社ニチワ工場増設予定地（松ノ元遺跡）

〔位置と環境〕

株式会社ニチワ工場増設予定地は日南市大字上方字松ノ元字大内地内に位置する、南部に細田川が流れる水田地帯である。周知の埋蔵文化財包蔵地には確認されていないが、平成８年度に近隣に位置する大園遺跡の発掘調査を行った際には、弥生時代の遺構及び遺物が発見されており、遺跡の発見される可能性は高いと思われた。

〔調査の経緯〕

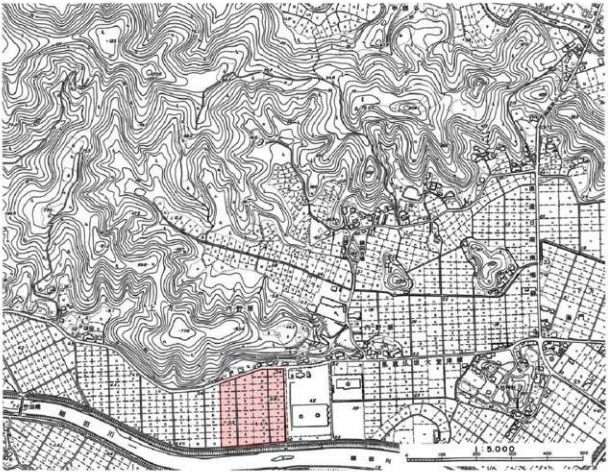
日南市による工場誘致により、株式会社ニチワが現所在地の隣接地に工業団地を建設することとなった。日南市土地開発公社が造成工事を行うこととなったが、大規模工事（開発予定面積６２，６９３．２３㎡）であるため、工事に先立ち試掘調査を実施することとなった。調査は平成１９年９月１２日～１０月３日の期間で実施した。

〔調査の結果〕

工場建物建設予定箇所を中心に当初、トレンチを１１箇所設定して調査を行った。人力にて遺物の検出を図ったところ、トレンチ４、７、１０から多数の遺物と遺構が確認された。出土遺物の大半は、平安時代中期の土師器、須恵器、製塩土器である。特にトレンチ４、１０からは掘立柱建物跡が検出された。工事の計画上、時間的制約があったため、トレンチ１２～２５を確認のため重機にて掘削を行ったが、目立った遺構及び遺物は発見されなかった。

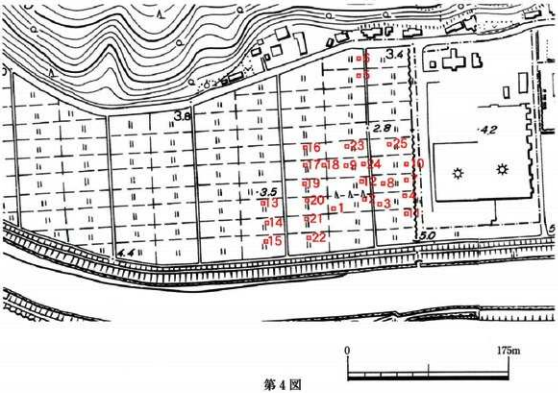
調査の結果、遺構、多くの遺物が確認されたことにより、本調査を実施する必要があることを確認した。

株式会社ニチワ工場増設予定地　位置図



第３図

株式会社ニチワ工場増設予定地　トレンチ位置図



第４図

株式会社ニチワ工場増設予定地　全景

図版　3

株式会社ニチワ工場増設予定地　トレンチ調査状況

トレンチ7

トレンチ10

トレンチ4

トレンチ8

図版　4

中津留地区ほ場整備予定地

〔位置と環境〕

中津留地区ほ場整備予定地は酒谷地区中央部に位置する水田地帯である。明治３７年にほ場整備が行われており、一部は掘削を受けていると想定された。周知の埋蔵文化財包蔵地は確認されていないが、周囲に酒谷城跡をはじめとして、多数の埋蔵文化財包蔵地が存在しているため、遺跡発見の可能性が考えられた。

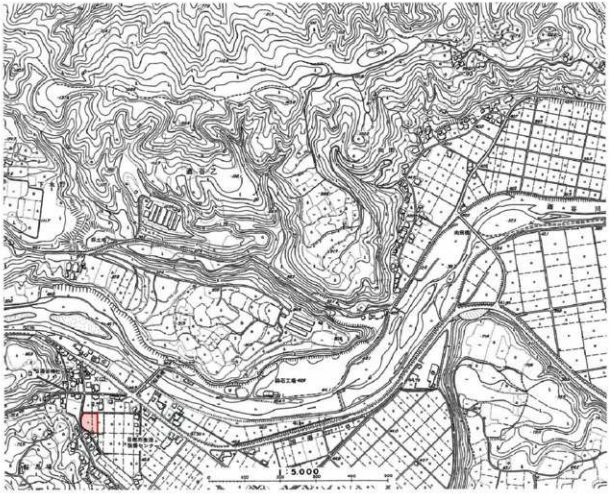
〔調査の経緯〕

日南市農林水産課よりほ場整備事業の実施に伴い、埋蔵文化財の有無の照会があったため、事前に試掘調査を行うこととなった。前回のほ場整備時に掘削された可能性の低いと思われる、比較的高所にある田３枚に対して５箇所のトレンチを設定した。調査は１月１５日～１月１７日の期間で実施した。

〔調査の結果〕

今回の調査では、各トレンチからは目立った遺構は発見されなかった。トレンチ４において床下直下より土壙が見られたが、炭のみを多量に含むことと、周囲の土層との関係から近年の掘削跡だと思われる。

中津留地区ほ場整備予定地　位置図



第５図

中津留地区ほ場整備予定地　トレンチ位置図

第６図

中津留地区ほ場整備予定地　トレンチ調査状況その１

作業状況

図版　5

中津留地区ほ場整備予定地　トレンチ調査状況その２

トレンチ１

トレンチ４

トレンチ２

トレンチ５

トレンチ３

図版　6

金丸養鶏場建設予定地（宮下遺跡）

〔位置と環境〕

金丸養鶏場建設予定地は日南市大字酒谷字宮ノ原乙の栗崎地区に位置している。周知の埋蔵文化財包蔵地（宮下遺跡）内であり、日当たりのよい台地上で酒谷川に接していることもあり、遺物及び遺構が検出される可能性は高いと思われた。

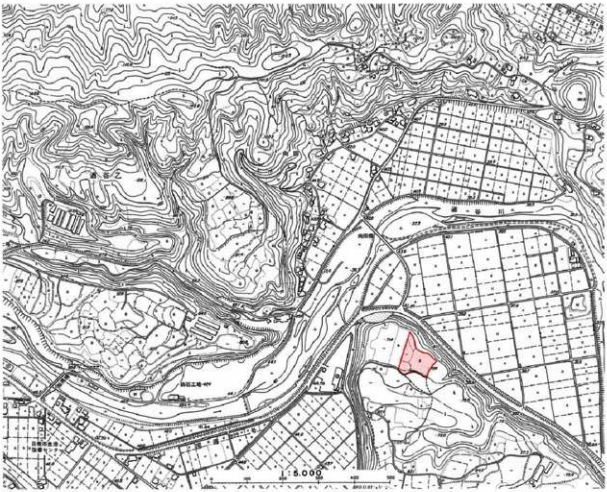
〔調査の経緯〕

宮下遺跡内において、養鶏場及び管理施設の建設についての確認申請があったため、工事に先立ち試掘調査を実施することとなった。調査対象面積は、６，８２８㎡で、現状は畑地となっていた。申請箇所に８箇所のトレンチ（１．５ｍ×１．２ｍ、１．８ｍ×１．５ｍ）を設定し、人力にて地表面から８０㎝～１００㎝掘り下げた。調査は２月４日～２月１２日の期間で実施した。

〔調査の結果〕

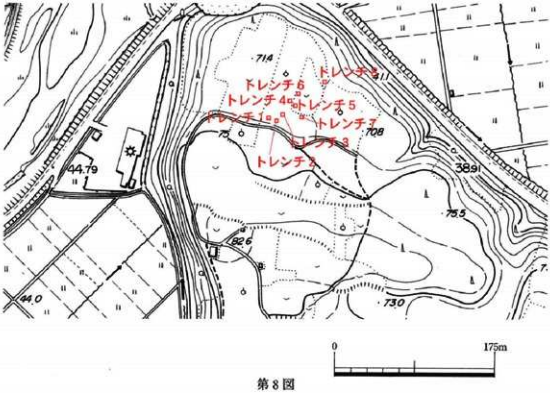
現地は樹根による攪乱も見られたが、比較的はっきりと各層が残っており、耕作土からアカホヤ層にかけて近年のものと思われる耕作跡が見られた。トレンチ３、及びトレンチ４の黒褐色土層とアカホヤ層の境面から縄文土器片が１片ずつ、トレンチ７の黒褐色土層より頁岩（加工痕は見られない）が確認された。今回の調査区域内では遺構は確認されなかったが、出土遺物の状態から、近辺に縄文の遺構が存在する可能性は非常に高いと思われる。

金丸養鶏場建設予定地　位置図



第７図

金丸養鶏場建設予定地　トレンチ位置図



第8図

金丸養鶏場建設予定地　全景

図版　7

金丸養鶏場建設予定地　トレンチ調査状況その１

トレンチ２

トレンチ４

トレンチ１

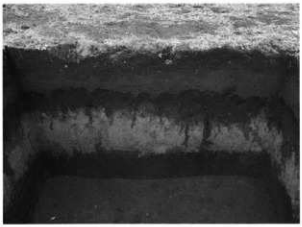
トレンチ３

図版　8

金丸養鶏場建設予定地　トレンチ調査状況その２

トレンチ６

トレンチ８

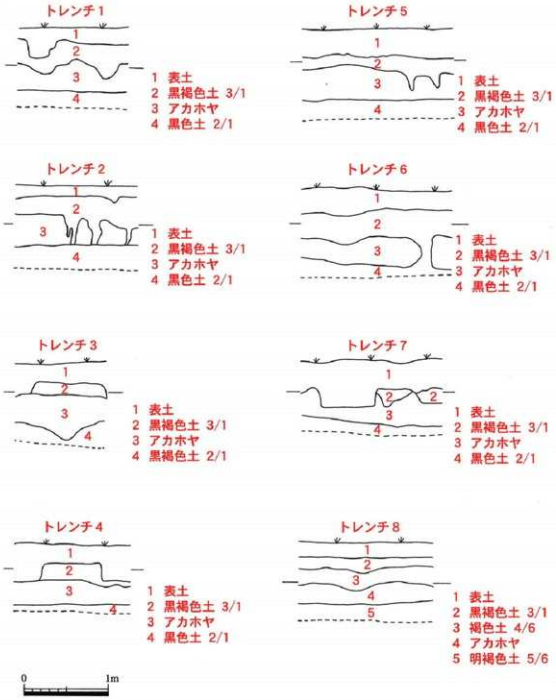


トレンチ５

トレンチ７

図版　９

金丸養鶏場建設予定地　土層断面図



第9図

飫肥城御倉石垣確認調査

〔位置と環境〕

今回全貌が明らかになった飫肥城石垣は、日南市大字板敷の飫肥中学校グラウンド北側の崖下に位置する。飫肥城本丸より北側に位置し、長年放置されていたことにより、完全に樹木に覆われていた。伝統的建造物群保存地区に指定されている飫肥城南部はかつての姿をよく残しているが、北部は近年の開発行為により、曲輪群は掘削を受け、当時の面影をとどめている場所は少なくなっている。寛文２年、及び貞享２年の絵図に描かれている石垣と同じ場所に、樹木の合間からわずかに石組みが見えていたため、絵図に描かれた石垣ではないかと考えられていた。

〔調査の経緯〕

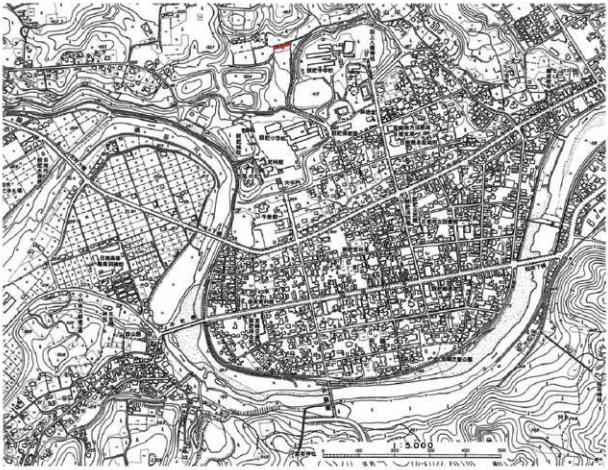
地元住民から、現在竹藪に埋もれている石垣は飫肥城の歴史を物語る貴重な資料であるため、調査してほしいとの要望があったことと、周辺の開発行為が進行していることから、石垣を覆う樹木を取り除き、石垣の範囲確認調査を行うこととなった。長期間樹木に覆われていたため、石垣に深く侵入した樹根も多かったが、可能な限り取り除き、石垣の全体像を明らかにすることに努めた。調査は３月２日から３月９日までの期間で日南市シルバー人材センターへの委託事業として樹木を伐採した後、石垣を覆っていた土砂を重機で取り除いた。

〔調査の結果〕

今回の調査で初めて全貌が明らかになった石垣は全長５５m、高さ５，８mの規模であることが判明した。中央上部には寛文の絵図に描かれている崩落部を修理したと思われる箇所を確認できた。石垣の大部分は、自然石を積み上げた打ち込みはぎ工法で築かれており、修理箇所との石組みの違いが確認できる。絵図によると、飫肥城の五つの外門の一つである谷ノ口に隣接しており、北側よりの外敵の侵入に備える防御壁として使用されていたのではないだろうか。

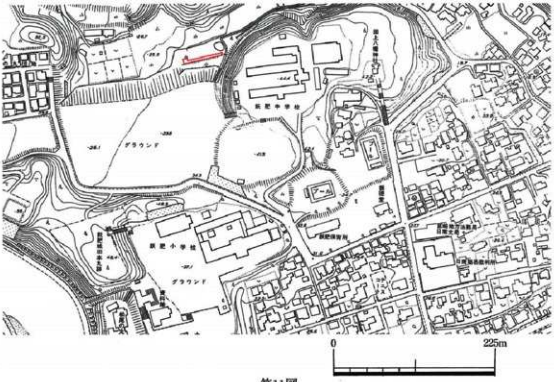
築かれた年代は、石組みの工法や絵図に描かれている年代などから考えて、江戸初期であると思われるが、詳細ははっきりしないため、今後の調査結果を期待したい。

飫肥城御倉石垣　位置図



第10図

飫肥城御倉石垣　位置図（拡大）



第11図

飫肥城御倉石垣確認調査状況その1

作業状況

図版　10

飫肥城石垣全景

飫肥城御倉石垣修復箇所

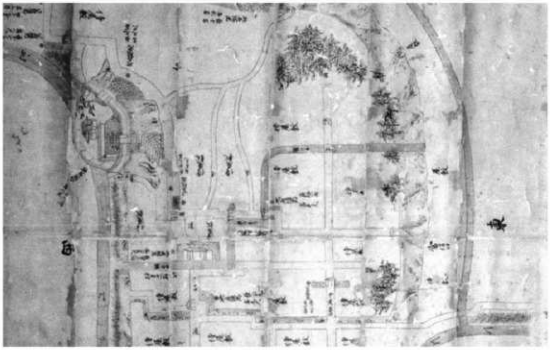
図版　11

飫肥城御倉石垣確認調査状況その3

着手前

着手後

図版　12

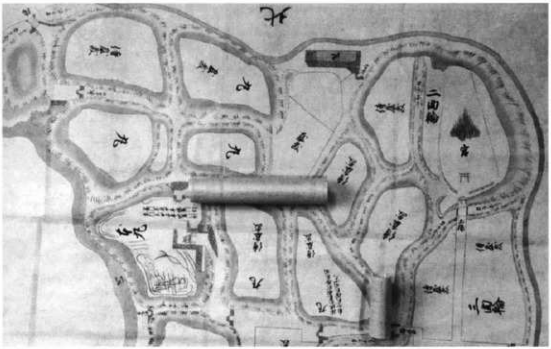


寛文２年絵図

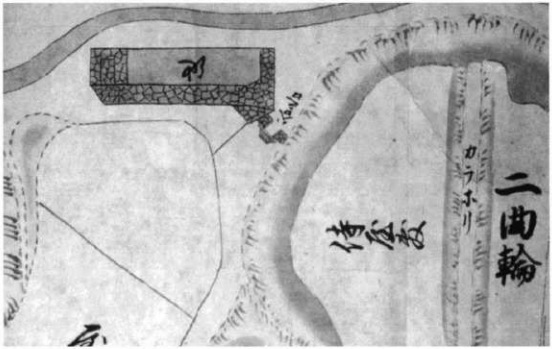
寛文２年絵図　石垣拡大

図版　13

飫肥城下古絵図その２



貞享２年絵図



貞享２年絵図　石垣拡大

図版　14

板敷地区携帯電話用無線中継基地局建設予定地

〔位置と環境〕

板敷地区携帯電話用無線中継基地局建設予定地は日南市大字板敷字那田山６１２１－１に位置している。標高５００mの高所にあり、弘仁１０年（８１９年）創建と伝わる霧島神社の境内に隣接している。周知の埋蔵文化財包蔵地には指定されていないが、神社の周辺地ということもあり、遺跡の発見される可能性が考えられた。現在は杉林となっている。

〔調査の経緯〕

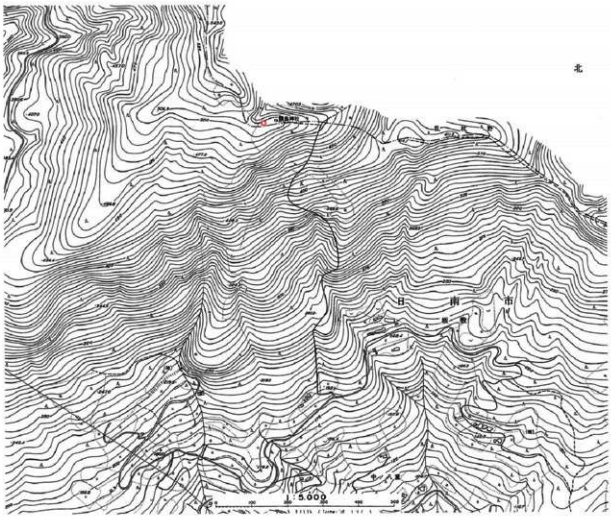
株式会社九電工日南営業所より、携帯電話用無線中継基地局建設にあたって、埋蔵文化財の所在の有無についての照会があったため、建設に先立ち試掘調査を実施することとなった。調査対象面積は、１００㎡で、現状は杉林となっていた。鉄塔の基礎を中心に、２箇所のトレンチ（１．８m×１．２m）を設定し、地表面より地山が表れる８０㎝の地点まで掘り下げた。調査は３月６日に実施した。

〔調査の結果〕

どちらのトレンチからも、遺構及び遺物は発見されなかった。

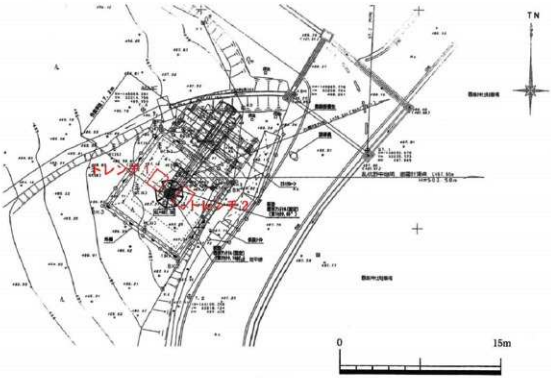
トレンチ２において、表土から地山まで８０㎝以上の攪乱がみられたが、市道建設時の掘削跡ではないかと思われる。

板敷地区携帯電話用無線中継基地局建設予定地　位置図



第12図

板敷地区携帯電話用無線中継基地局建設予定地　トレンチ位置図



第13図

板敷地区携帯電話用無線中継基地局建設予定地　トレンチ調査状況その1

作業状況

図版　15

板敷地区携帯電話用無線中継基地局建設予定地　トレンチ調査状況その２

トレンチ１

トレンチ２

図版　16

日南市埋蔵文化財調査報告書　第23集

平成19年度　日南市内遺跡発掘調査概報

2008年３月

編集発行　宮崎県日南市教育委員会
〒887-8585　日南市中央通１丁目１番地１
電　　話　０９８７-３１-１１４５

印　　刷　株式会社　田中写真印刷
〒887-0031　日南市戸高２丁目３番地５
TEL 0987-22-5328 FAX 0987-22-5326